

# 既指定地域における評価書 <仙台長町駅東地域(H16.5指定)>

## ●評価書

都市再生緊急整備地域名	仙台長町駅東地域
-------------	----------

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	<p>【仙台市都市計画マスタープラン(平成24年策定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域拠点の長町地区においては、都市圏の活動を支え、生活拠点にふさわしい魅力的で個性ある都市機能の強化・充実を進めます。</li> <li>・都市再生緊急整備地域においては、都市の再生に貢献する都市機能の集積と高度化を推進します。</li> <li>・あすと長町地区については、土地区画整理事業により都市基盤の整備を推進するとともに、広域拠点にふさわしい土地利用を誘導します。</li> <li>・新市立病院の建設とあわせ地域医療機能の強化を図るため、関連施設の立地を誘導します。</li> <li>・広域拠点の利便性を生かし、中高層の集合住宅などの都市型居住を推進するとともに、暮らしに必要な都市機能の集積を推進します。</li> <li>・充実した交通結節機能と都市基盤の特性を生かし、多様な用途が融合する施設の立地を誘導します。</li> <li>・震災の経験や教訓を生かしたより実効性の高い防災体制を構築するための指針となる、地域防災計画と連携しながら、今後発生しうる自然災害を想定し災害に強い都市の構築を推進します。</li> </ul>	<p>地域の全体で実施されていた土地区画整理事業が平成25年3月に完了している。</p> <p>長町駅の北側地区では、民間によるアリーナ、運動場、店舗からなる複合型施設の整備が平成24年10月に、市による病院整備が平成26年7月に、市による広場整備が平成24年3月にそれぞれ完了している。</p> <p>また、長町駅の南側地区では災害公営住宅や民間集合住宅が整備され、現在も整備中の箇所がある。</p> <p>公共施設整備では、JRIによる線路の高架化が平成18年9月に、周辺地域とつながる歩行者専用道の整備が平成21年10月に、駅西口広場が平成22年7月に、駅東口駅前広場が平成20年3月にそれぞれ完了している。また、都市計画道路(長町八木山線、あすと長町環状線、あすと長町大通り線)の整備は完了しており、河原町長町南線が平成29年度の完了予定である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口(地域内) 412人(H17)→1,487人(H27) :約261%増(太白区:約2%増)</li> <li>・世帯数(地域内) 204世帯(H17)→752世帯(H27) :約269%増(太白区:約13%増)</li> <li>・地価(地域内)※H27に公示地価の地点変更 20.5万円/㎡(H16)→17.0万円/㎡(H26) :約17%下降(太白区:約21%下降) 24.2万円/㎡(H27)→26.5万円/㎡(H28) :約10%上昇(太白区:約6%上昇)</li> <li>・従業者数(地域内) 約180人(H13)→約1,500人(H26) :約730%増</li> <li>・一日平均乗車人員(長町駅(地下鉄・JR)) 約11,600人(H16)→約14,700人(H26) :約27%増</li> </ul>	自治体としては、解除の意向

項目別評価	「仙台市都市計画マスタープラン」において、都市機能の集積と高度化を推進することとされている。	都市開発事業や公共施設整備事業が概ね完了している。今後、都市再生制度の特例等を活用する事業は予定されていない。	人口、世帯数、地価、従業者数、一日平均乗車人員において、都市再生の効果の発現が認められる。	
総合評価	道路整備事業が一部継続中であるが、その他の都市開発事業・公共施設整備は完了しており、整備の目標は概ね達成された。 なお、都市再生制度の特例等を活用する事業は予定されていない。		⇒	地域指定を解除